

# 豊中駅前の居心地を 一緒に考えよう。

全  
**3回**  
各2時間・参加無料

「歩きたくなるまちなか」は、官民が力を合わせることで初めて生まれます。  
3回の勉強会で、豊中駅前の未来を参加者みんなで描きます。

WALKABLE TOYONAKA STATION AREA STUDY GROUP 2026

豊中市が策定した「豊中駅周辺再整備構想」を受け、銀座通り・一番街を中心とした道路空間の再編について、**地域住民・商業者・関心を持つ市民と一緒に考え、官民が協力して実現していくきっかけを作りたい**と思います。

正解を出すワークではなく、豊かな「妄想」を育て、小さな一歩につなげる場です。

## 3 SESSIONS / PROGRAM

第  
**1**  
回

### 「歩きたくなるまちなか」って何だろう？ —— 人中心の空間と豊中の可能性

国内外の事例と国交省ウォークアブルポータルを通じて「人中心の道路空間」の概念に触れ、豊中駅前で  
の「過ごし方」を参加者の言葉で描く。強みともったいなさを整理し、官民協調の必要性を体感する。

ウォークアブルポータル

過ごし方カード

付箋ワーク

パブリックライフ

第  
**2**  
回

### 空間をどう変える？ —— 官民の役割と近似都市の事例から考える

アクティブエッジ・道路空間の再配分・ほこみち制度を学び、高松丸亀町や佐賀わいわい！コンテナな  
ど近似都市の事例から想像力を広げる。「官が先か・民が先か」を議論し、その連携の具体像を描く。

アクティブエッジ

ほこみち制度

近似都市事例

地図ワーク

第  
**3**  
回

### 小さく始めて、街を育てる —— 社会実験・エリアマネジメント・提案へ

タクティカルアーバニズムの思想を学び、「誰が何をするか（公 / 民の役割分担）」を含めたパブリッ  
クラライフ提案をとりまとめる。勉強会の成果を協議会として市を含めた地域の関係者に共有する。

タクティカルアーバニズム

パークレット

エリアマネジメント

提案書

妄想する  
(過ごし方)



描く  
(空間イメージ)



動く  
(役割を決める)



提案する  
(共感を得る)

#### 開催日程

- 第1回 2026年8月18日(火)
- 第2回 2026年9月29日(火)
- 第3回 2026年10月20日(火)

各回 14:00 ~ 16:00 (開場 13:45)

#### 会場

豊中市立大池  
コミュニティプラザ

阪急宝塚線「豊中駅」徒歩圏内

#### 参加について

参加無料・事前申込制  
連続参加、単回参加歓迎

お申込み(メール起動)

<https://x.gd/RCKv6>



豊中駅前まちづくり推進協議会

Toyonaka Station Area Town Development Promotion Council

本勉強会は市の事業ではなく、協議会が主体的に企画する参加者共  
創型のワークショップです。